

京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

2頁 福音宣教の事例紹介 おとずれの会

3頁 こんにちは神父さん 上田 巍師

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
京都教区時報編集室
TEL 075-211-3468
FAX 075-211-4345

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。

TEL・FAX 0794-31-8601



福音宣教の未来という問いの答
えは、私たちひとりひとり、私たち
が作っている信仰者の共同体そ
のものの方にかかっている。
(『福音宣教の過去と未来』サン
パウロ より引用)

(写真は、昨年の侍者合宿に参加
した子どもたちの
兄弟姉妹、両親の
写真です)

**3
2006**

神の全民員が福音化の働き手
イエス・キリストの福音が、そ
の歴史の始めから、出会いのでき
ごとであつたということです。言
いかえれば、福音はそれとの出会
いをもたらす宣教なしに、福音で
はあり得ない、ということです。
イエスの福音は、弟子たちが復
活者イエスと出会ったときに、す
べての人々に伝えられるべき福音
となりました。

福音と人間、また人間が生きて
いる世界との出会いの歴史は、こ
れからも続いていきます。出会い
が出会いとなるために、まずキリ
スト者自身が、日々新たに福音と
出会っていなければなりません。

福音宣教する共同体の事例紹介

河原町教会「ザビエルおとずれの会」

河原町教会では、毎年12月24日の夜、「クリスマス市民の集い」が行われて、一般市民の大勢の方々が参加されています。これは毎年のクリスマス恒例行事としてメディアでも取り上げられています。昨年も約940名ほどの方が参加をいただき、広い聖堂のイスをかなり詰め合わせて座っていました。

この方々にアンケートをお願いし、お答えいただいた方々を訪問する活動を、一昨年から行いはじめました。「ザビエルおとずれの会」のグループです。編集部ではその様子を見せていただくために、1月21日(土)の夜の集まりに参加させていただきました。この集まりは毎月1回行っています。

メンバーは10名ほどです。その夜は浅田師とメンバー7名の参加でした。寒い中、仕事の疲れもありました。熱心に話し合いを進め

市民の集いに参加されたご本人

アンケートは、「クリスマス市民の集い」を何で知りましたか？印象は？ 内容は？ 参加の目的は？ 参加回数は？ キリスト教について関心をお持ちですか？などの設問です。昨年のクリスマスでは330名ほどの方が回答がありました。また回答者全体の80パーセントの方が未信者でした。一昨年はお名前、住所は80名ほどの方が記入されましたので、今回も集まりまでの1年間は、その方々を訪問しました。

訪問は名簿を作つて、それによつて2、3名で組になつて行つています。集まりでは、訪問したときの様子を詳しく報告します。訪問の状況をお互いに知り、これからどういうところに気を配つた方がいいか、どのように対応したらいいかを相談しています。

昼間の訪問では、「クリスマス

に会えないことが多い、夕刻とか夜に訪問することも考えています。訪問には、あいさつ状、心のと

もしごを携え、受け取つていただける方にお渡します。ご不在の場合は郵便受けに入れることもあります。このような訪問の場合、

まれにではありますが、来意を聞いてすぐドアを閉じてしまつといふこともあります。しかし

うこともなくはありません。しかしほとんどの方は快く対応していただいています。

今回の集まりでは、次回に向けて昨年度のクリスマスのアンケートの回答者をリストにして、地区に分けてみんなで手分けして訪問する割り振りを行いました。

この会では、もう一つの活動をしています。それは、河原町教会で行われている3つの信仰講座にメンバーや2名ずつが出席して受講者と共に勉強していることです。

受講者の友だちとなり、相談相手となるためです。このことによつて、受講者が洗礼を受けられるようになつたときには、容易に教会の仲間に溶け込めるようにお手伝い出来るのではないかと考えているのです。



「ザビエルおとずれの会」の集まり



河原町教会 2005年「クリスマス市民の集い」

ここにちは神父さん

教区時報では、これから「ここにちは神父さん」の記事を連載することにしました。

5年前の2001年8月から、2005年6月まで「ここにちはシスター」を掲載してきました。一人ひとりは小さい写真でしたが、紹介したシスターは延べ200人を超えました。日頃お見かけしているのだが名前が分からぬといふシスターのお名前が分かりました。



上田 嶽
神父

うえだ いわお
お住まい
カトリック
仁豊野ヴィラ
生年 1912
叙階 1944

を超えました。日頃お見かけしているのだが名前が分からぬといふシスターのお名前が分かりました。

司祭とか、他府県の司祭の顔を見かける機会はほとんどない方もおられるでしょう。掲載は、年齢順にご紹介します。これから60名を超える神父さんを、毎月2名ずつ半ページ(スペース)がある場合には4名1ページ、スペースがない場合は先にのばすこともあります)でご紹介します。

まずその第1回は、上田巌神父様をお訪ねしました。

お姿をよくお見かけします。聖書もよく読んでおられ、そのお姿に頭がさがります。

ごミサのときは、車椅子で参加して、一緒に祈っておられます。

このお正月には、おぞうにのお餅とか、おせちのおにしめなどやわらかいものを小さく切ってさしあげたら、とてもおいしそうにお食べになりました。お酒も少し召し上がりました。

仁豊野ヴィラにお伺いしました。神父様と直接あまりお話を出来なかつたので、身の回りの世話をしに来られたシスター岡本から最近のご様子を伺いました。

毎日、よく祈っておられます。部屋の中とか聖堂で祈つておられ

たでしょうか。

司祭の顔は多くの方がご存知だと思いますが、他のブロックの

司祭とか、他府県の司祭の顔を見かける機会はほとんどない方もおられるでしょう。

子羊会

子羊会 水島悦子

社会と共に歩む教会の事例

「子羊会とは、どういう会ですか」「子羊会を一口でいいますと

ね。私たち、身体障害者や病者が互いに祈り助け合いながら強く明るく生きて、さらにはまだ神様の愛を知らない同じ境遇の友

にキリストを伝え、共に、

人類と世界平和のため、

私たちのしあわせを築く

ために祈り、働きましょ

うという決心と約束のも

とに生まれた会なのです」

故伊達よしあ会長のこと

ばです。



子羊会はメリノール女子修道会故シスター・マリア・エリスと、重度のリューマチでベッドと車椅子の

生活をされていた故伊達よしあさんと、その介護をされていた妹の故田鶴子さん姉妹との神様のお引き合せから生まれました。

1956年7月、高野教会で伊達よしあさん他8名の身体障害者と病者で子羊会が始められました。

以後、寒中と猛暑は除き毎月例会が開かれ、友の会の方々と共にご

ミサで祈りあいました。今では会員は北海道から沖縄まで、156名になりました。

当時の古屋京都司教様は、子羊会の指導司祭に、メリノール宣教會の故ディフリー神父様、村上眞理雄神父様を任命してくださいました。最初の野外活動は、琵琶湖畔の芝生が美しい唐崎メリノールハウスでの野外ミサ

と集いでした。

重度身体障害者のための「愛のホーム」建設のため長年にわたる祈りと努力が続

けられ、ローマ教皇

様をはじめ各方面の

援助により、園部町

に「こひつじの苑」が、1972年に建

設されました。

友の会の皆さまの

助けを頂きながら、1973年には長崎巡礼旅行を、1976年と

1990年にはローマ・ルルドへの巡礼旅行を行い、神さまから大きな喜びとお恵みをいただきまし

た。現在も毎年、黙想会、合宿を

続けております。

この秋、皆さまのおかげにより、創立50年を迎えます。

2006年 福音センター養成コース
 〈基本講座〉キリストとの旅(Ⅱ)



福音センターニュース

ミサ—変化の秘跡

「日常からミサを生きる」。わたしたちは三年前よりこの課題に取り組んできました。

三年目の今年、「変化」をキーワードにもう一度ミサを見つめます。キリストによって、「わたし」が、そして「わたしたち」が「変えられる」ために…

1、講座全体のあらましと狙い

4月27日(木) 福音センター

2、主は十字架上で憎しみと暴力を愛に変えられた

5月11日(木) 北村善朗師

3、主は最後の晩餐でパンとブドウ酒をご自分に変えられた

5月25日(木) 伊従信子氏

4、主が命を捧げた体は栄光の体に変えられた

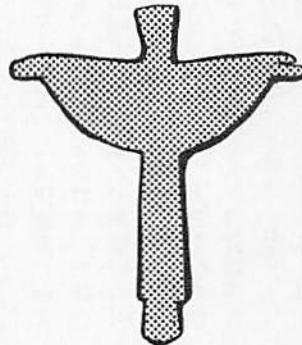
6月8日(木) 原田雅樹師

5、その体を受けるわたしたちが主に変えられる

6月22日(木) 村上透磨師

6、変えられたわたしたちが世界を変える

7月6日(木) 森田直樹師



●場所：河原町会館8階会議室

●時間：午後1時半～4時（1回目のみ午後1時半～3時）

●申し込み：4月20日迄に、住所・氏名・電話・教会名をご記入の上、参加費3,500円を下記にお振込みください。

郵便振替口座(00920-4-161844 カトリック福音センター養成コース)

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上ル 京都カトリック福音センター

Tel 075-229-6800 Fax 075-256-0090 E-mail:fukuin@kyoto.catholic.jp

2006年度

福音センター養成コース(再掲)

	タイトル	内 容	日 程	場 所
基礎	福音センター基本講座(II) (6回シリーズ)	福音センターの講座の基本となる講座。 今年のテーマは、「ミサー変化の秘跡」	4/27、5/11、5/25 6/8、6/22、7/6	河原町会館 8階
学び	『カトリック教会の教え』 に親しもう(第4回)	昨年に引き続き「キリスト者の倫理」を浜 口師によりお話ししていただきます。 今年のテーマは「いのち」。具体的な取組 みをまじえた講座にしたいと考えます。	9/30	河原町会館 6階
	特別講座 「新しい福音宣教を目指して」(5回シリーズ)	2006年度の教区目標「新しい福音宣教に向 かう小教区評議会」を十全に生きることが できるよう、考え、祈るための講座。パウ ロ6世の『福音宣教』に沿って「宣教」と は何かを5回にわたって見てきます。	3/1、3/15、3/22 4/5、4/19	河原町会館 6階
祈り	祈り(I)	祈りとは何か。そしてどう祈ればよいのか。 二泊三日の默想会を通して理論と実践を学 びます。	6/2~4	ノートルダム唐崎 修道院
	祈り(II)	祈り(I)をもとに、識別の力を育て、信 仰者として歩む道をさぐります。	11/17~19*	ノートルダム唐崎 修道院
沖にこぎ出そう	病人訪問(I)	病床にある人を訪問するわたしたちはどう すれば「いやし人」になれるのか。 経験豊かな沼野尚美氏のお話を聞きコミュ ニケーションの実践を学びます。	9/23~24	宝塚 黙想の家
	結婚講座(第26回)	心理的、社会的、宗教的側面から 「結婚」を考えます。	1/21、2/4、2/18	河原町会館 6階
	結婚講座(第27回)		7/1、7/15、7/29	河原町会館 6階
グループ学習	沈黙の祈りへ	神との一対一の対話である「沈黙の祈り」 は、あらゆる使徒職の基礎となることを学 び、共に祈ります。	4月から月1回	河原町会館 8階

※ 祈りIIの日程は10/27~29が11/17~19に変りました。

お
知
ら
せ

青年セントラーカラ

- ◆中学生会春の合宿▼27日(月)～29日(水)高の原野外礼拝センタ
- ◆高校生会春の合宿▼4月3日(月)～5日(水)高の原野外礼拝センタ

教区委員会から

◆聖書委員会▼聖書深読11日(土)

- 10時 中川博道師 河原町会館6階 費用2500円(昼食代を含む)持参品 聖書・筆記用具・ノート(お申し込みは3日前までに)

brook・小教区から

諸施設・諸活動から

- ◆河原町教会▼教会の祈りと聖体賛美式・主日のミサ 第1日曜日17時半

修道会から

- ◆聖ドミニコ女子修道院▼イエスのたとえ話を考える21日(火・祝)19時半 指導 米田彰男師(ドミニコ会)▼「ロザリオと共に祈る会」17日(金)10時半▼以上どちらでもどうぞ▼問合せ075(231)2017

- ◆カトリック聴覚障害者の会京都グルーブ▼手話学習会9日(木)11時 河原町会館▼復活祭に向けて半日默想会企画中
- ◆京都カナの会▼例会、結婚相談室5日(日)13時半 河原町会館

◆聖パウロ修道会▼青年召命黙想会「呼びかけに応えよ」4月22日(土)13時～23日(日)13時場所 宝塚黙想の家 指導 赤波江

月10日	問合せ	092(721)2031高木宛
謙一	会費	9000円
所	宝塚黙想の家	指導 赤波江
月10日	問合せ	092(721)2031高木宛
謙一	会費	9000円
所	宝塚黙想の家	指導 赤波江

濟州教区の紹介2

交流部 兼元邦浩

濟州島について

産業

今でも農業は島の重要な産業である。名物はみかん(特に最近はデコポンが有名)、大麦、野菜、お茶などで、これらは全て海岸沿いの低地で作られている。またサボテンが観葉植物として、またサボテン茶の原料として栽培されている他、韓国産のきのこが殆どこで栽培されている。また広大な牧草地では馬や牛の放牧が行われている。

なった現在でも新婚旅行先としてトップの座をまもっている。

島の気候はヤシの木が生えるほどで朝鮮本土とは異なる。韓国で最も雨が多い土地であることもその一因にある。また他の多くの地方では年間総雨量の60%が夏の雨季に降るのに対し、チエジュドの場合は年間を通して雨が降る。

気候

◆JOC▼働いている青年の集い。集会場所 京都働く人の家(九条教会前)連絡先090(8207)1831

劇的な変貌をとげ島の人々が漁業や農業で生活を立てていた時代は終わつた。この変化をもたらしたのは勿論觀光産業であった。氣候が温暖であること、かつて海外渡航が制限されていたことから裕福な韓国人はこの島でバカンスを楽しむようになったのである。1970年代にはすでに新婚旅行のメッカとなっていたチエジュドは、多くのカップルがグアムなどドロマンティックな時間を楽しむよう



濟州馬放牧地

6階

- ◆京都カトリック混声合唱団▼練習日5日(日)、12日(日)、21日(火・祝)いずれも14時、25日(土)19時場所河原町会館6階
- ◆京都キリストン研究会▼定例会26日(日)14時河原町会館6階
- ◆在世フランシスコ会京都兄弟会▼集会18日(土)13時半フランシスコの家
- ◆聖ヴィンセンティオ・ア・パウロ会▼河原町協議会12日(日)▼中央理事会26日(日)▼いずれも河原町教会
- ◆二金会▼10日(金)西陣教会
- ◆糠みその会▼30日(木)19時半九条教会ホール
- ◆心のともしび3月番組案内▼テレビKBS京都テレビ
- △26日の放送内容▽
- 白柳誠一枢機卿様のお話。宗教の違いはマイナスではなくプラスであり、対話する時、その違いは越えられる。
- ▼ラジオKBS京都ラジオ3月のテーマ「大人になる」問合せ075(211)9341
- ◆「一万匹の蟻」運動基金報告累計46、361、244円

ウォーカソン

良書紹介

『典礼奉仕への招き』

—ミサ・集会祭儀での役割—
オリエンス宗教研究所編

先月の2月号(339号)で、京都教区のウォーカソンについて紹介しましたが、京都南部地区では、他にもう一つ開催されておりました。これがもれていますのでお詫びして、内容を紹介いたします。

◆西ブロックウォーカソン

主催京都南部西ブロック
日時2005年10月30日(日)

10時

コース園部聖堂スタート、聖ドミニコ宣教修道女会修道院、園部公園、こひつじの苑、園部聖堂ゴール
距離約7キロメートル
参加者113名
募金額約19万円
送金先

○京都いのちの電話
○東チモール図書支援

正義と平和協議会京都大会
10月7日(土)~9日(月・祝)
行われますが、その準備の下見として4月1日(土)長良川現地学習を行きます。参加希望者は059(229)3078
(1月17日現在)

ちと共にということが語られる。

6章は、朗読奉仕と聖歌奉仕。

7章は、共同祈願に関する奉仕。

ここまでが「みことばの食卓」

または典礼と呼ばれるもの)。

ミサではこのあと感謝の祭儀・

典礼に入る。

8章はミサが行われるときの祭壇奉仕について。

9章は聖体奉仕。ここで「聖体

を作る役割(司祭固有)」と信

徒も参与出来る「運ぶ役割」と

「授ける役割」について語っている。

10章は集会祭儀についての指針

を述べ、その後3教区における3つの試みが紹介され、あと

書きとして、佐藤初女さんの「生活の中での奉仕」についてのエッセイがある。

この書で印象深い言葉を紹介しておこう。それは、序にかえて「みことばと奉仕」「聖書に導かれる礼拝」という題の中で、

聖書に基づかないような礼拝

がはどんなに立派な儀式であれ:

典礼とはみなされません:礼拝

はキリストの身体を作り上げるためのものなのです:」。神の

みことばを通して得た神の命が

聖体を通し与えられる神の命へ、

そして愛の交わりによる命へと

招くのです。

3章から5章は、祭儀に参加する障害者、外国人、子どもた

大塚司教の

3月のスケジュール

1日 (水)	メリノール女子学院高等学校卒業式	16日 (木)	聖母学院小学校卒業式
2日 (木)	中央協常任司教委員会 神学校合同準備会	18日 (土)	セントヨゼフ女子学院 ミサ 8時50分
4日 (土)	仙台司教区被選司教平賀徹夫司教叙階式(仙台百合学園)	19日 (日)	三重・南勢ブロック司教訪問(伊勢)
5日 (日)	聖母訪問会感謝ミサ(西院)	22日 (水)	社会福祉法人カリタス会理事会14時
6日 (月)	教区合同洗礼志願式(河原町)	23日 (木)	司教顧問会・責任役員会10時
7日 (火)	青少年委員会15時	25日 (土)～26日 (日)	司祭評・常任委員会14時
8日 (水)	司教の滋賀地区集会(草津) 19時	福岡教区	司祭評・常任委員会14時
9日 (木)	学法滋賀学園理事会14時	糸島教会黙想会	司祭評・常任委員会14時
11日 (土)	葛カラトリック幼稚園創立50周年感謝ミサ9時半	27日 (月)	教区保育者研修会
12日 (日)	ム会議14時	28日 (火)～29日 (水)	侍者合宿
14日 (火)	A司教訪問(桃山) 学法京都学園・京都南学園理事会14時	30日 (木)	聖香油ミサ(河原町) 11時
15日 (水)	ノートルダム学院小学		
	校卒業式10時		
	京都済州姉妹教区交流		

◆編集部から

お知らせに載せたい情報は、前月の1日までに、教区時報担当宛に個人、小教区、諸活動グループ、青年から上がってくる声に基づいて行事を企画、立案またか、henshu@kyoto.catholic.jpに、発信者のお名前を明記してお寄せください。

青年センターについて

企画立案。

安藤寧良

私が京都カトリック青年センターに勤務するようになって、間もなく1年が経とうとしています。自己紹介ではよく、「青年センターに勤務しています」というのですが、周りからは「青年センターって何をしているの?」と聞かれることが多く、うまく答えられないのです。で、すので今日、改めて青年センターの役割をご紹介したいと思いま

タに勤務するようになって、間もなく1年が経とうとしています。自己紹介ではよく、「青年センターに勤務しています」というのですが、周りからは「青年センターって何をしているの?」と聞かれることが多く、うまく答えられないのです。で、すので今日、改めて青年センターの役割をご紹介したいと思いま

タに勤務するようになって、間もなく1年が経とうとしています。自己紹介ではよく、「青年センターに勤務しています」というのですが、周りからは「青年センターって何をしているの?」と聞かれることが多く、うまく答えられないのです。で、すので今日、改めて青年センターの役割をご紹介したいと思いま

【①情報・活動のキーステーション】

京都教区内はもちろん、他教区なども含めた青年活動の状況の把握と、それらの情報交換の仲介。機関誌『Giovani』の発行、ホームページの設営など。

【②広い意味での「相談機関】

京都教区の各ブロック(京都北部・京都南部・滋賀・奈良・三重)、青年諸活動グループが活動する上で様々な情報を集積し、また個人的な相談、精神的支えにもなるような相談機関としての役割。

【③企画・立案】

個人、小教区、諸活動グループ、青年から上がってくる声に基づいて行事を企画、立案またか、henshu@kyoto.catholic.jpに、発信者のお名前を明記してお寄せください。

青年センターホームページ
<http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/>
携帯電話からむじやん
<http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/m>